

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第3回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年8月25日(金) 10:00～11:30

2 場 所 明生小学校 会議室および図書室

3 あいさつ

○今日はこの後、明生小学校の職員の皆さんとの意見交流会の場を設定している。初めての試みで、とても楽しみにしている。委員の皆さんも積極的に意見を述べていただきたい。

4 協議内容

(1) 学校支援についての今後の方向性

○2学期は5・6年生の家庭科実技(ミシンなど)の支援をボランティアさんにお願いしたい。

○家庭科の他に授業での支援が必要な場合は申し出てほしい。

○運動会の練習で変更になる場合等、時間割りの変更があれば教えてほしい。

(2) 令和5年度全国学力学習状況調査の結果について

○算数において単発的な問題はできるが、必要な資料を選ぶ、読み解く、既習の知識を組み合わせて解決方法を見つけることが苦手。

○課題の解決に向けて、今後の授業で、「基礎・基本の考えを発展的な考えに関連付けた学習」「日常生活に結び付けた設定、今後出くわすであろう場面を設定し『何とかして、答えを出さなければならない』という必要性を感じさせるような問題」に取り組ませていきたい。

○学調の算数で正答率の低かった問題を、委員の皆さんにも解いていただき、子どもたちがどこでつまづくのか考えることができた。

○子どもたちは「計算の意味」がわかっていない。数字を何となく並べて計算をしている。答えは出せても、解き方の説明ができない。

(3) 令和5年度明生小学校学校アンケート(前期)の結果について

○コロナが明けて、人との関わり合い、コミュニケーションの機会が増えたことマスクを外して表情が見える生活に戻りつつあることから、子どもたちの結果からは、昨年度に比べて学校生活を楽しいと感じていたり、学習やその他の活動に楽しく参加し、満足している様子がうかがえる。

○保護者の結果と子どもの結果にはギャップがあり、中でも学習に対する項目についてのギャップが目立ち、家庭で声をかけていただいたり、宿題を見ていただいたりしているおかげで、子どもたちの満足度が上がっていると思われる。

○防災意識については子どもも保護者も昨年度より高まっている。

○厳しい意見もあるが、保護者の不満や不安をしっかりと聞きとること、対話することが大切。真摯に受け止めて、よりよい学校をめざして改善していかなければならない。

## 5 明生小学校職員との意見交流会

低学年・中学年・高学年の3つのグループに分かれて「明生の子どもたちを『どんな子どもたちに育てていきたいか』というテーマで話し合った。

### ○低学年グループ（職員5名，委員2名，ボランティア1名）

- ・地域から見て，明生の子どもたちはあいさつが概ねできている。
- ・学校が「楽しいところ」であってほしい。休み時間はもちろん，勉強もわかって楽しいと感じられるように，地域の皆さんのお力添えをお願いしたい。
- ・学習も大事だが，たくましく生きていく子ども，あいさつができる子ども，へこたれない子ども，問題を乗り越えていける子どもに育てていきたい。

### ○中学年グループ（職員5名，委員3名）

- ・社会に適應できる子どもに育てていきたい。そのために，社会に関わることができる場，親以外の大人と関わりが持てる場，例えばラジオ体操や地区清掃等，地域での活動を増やしていきたい。
- ・子どもは参加したいが，親のサポートが難しいことが多い。子どもの思いを大切にするために地域や学校でサポートできれば良いが・・・
- ・ボランティアさんのサポートがとてもありがたい。

### ○高学年グループ（職員5名，委員4名）

- ・学習面では，思考力，応用力，表現力が課題。学習，生活の場で自主性を育む仕掛けを用意し，社会で必要な力を身につけさせたい。
- ・健康面での知識，礼儀作法，コミュニケーション能力等を身に付けさせるために，例えば野菜を作って売る等，社会の仕組みが実感できるような活動に取り組ませるのはどうか。
- ・学校アンケートから子どもと保護者のズレを感じる。子ども，保護者，学校が三位一体となって教育活動を行っていかなければならない。

### ○感想等

- ・この意見交流会の内容を，ぜひPTA全体に広めていきたい。皆さんを学校教育にひっぱりこんでいきたい。
- ・話し合いの時間30分間が，あっという間に過ぎていった。さあ，これからというときに時間切れ。もっと話をしたかった。
- ・学校運営協議会で先生方がどんな意見をもっているのか知りたかった。今回やっと実現した。より良い学校にするために，地域・学校・家庭の協働が必要。議論するだけではなく，実行に移していけるように。
- ・ひとつの課題に対してどう動いていけば良いか，学校がもっているもの，地域がもっているものを合わせて実行ベースに移していかなければならない。
- ・ボランティアの数をとにかく増やしたい。来てもらえるような施策が必要。
- ・自治会とも協力していけたら良い。

## 6 次回日程

第4回学校運営協議会（平田野中学校区合同学校運営協議会）

○11月10日（金） 10：00～ （予定）